

a thousand years

金藤みなみ

「日の出の松」伝説に出てくる竹女は、伝えられた場所によっては召使のように表現されている。

私が初めて広野町を訪れた際、観光協会の鈴木会長から「竹は領主の子どもたちの教育役を任されるほどの女性だったのだから聡明な女性であったに違いない」という力強い言葉を聞いた。

この伝説に限らず、乳母や召使として昔話に登場する無数の名もなき女性たちは皆、聡明で自分の仕事に誇りを持って生きていたのではないか。

そんな女性たちの生き様を讃えるような作品を作ることが出来ないだろうか。

この「a thousand years」という作品には、そんな思いを込めた。

作品のタイトルは、「日の出の松」伝説の舞台となった平安時代から現代に至る千年の間に生きた無名の召使たち、乳母たちの時間を指している。



広野アーティスト・イン・レジデンス「日の出の松」プロジェクト